

自分の授業スタイルの中にタブレット端末を活用した手立てをイメージできる

ICTを活用した授業力向上に向けて（第1回／全2回）

◆ 主な流れ（参考時間 20 分間）

1 導入：タブレット端末で簡単にできること【約 2 分】

- ・ 右記例参照。

2 授業での活用イメージを具現化する（ビデオ鑑賞）

【約 10 分】

- ・ それでは、先生方一人一人に、ご自分の授業のどの場面で活用できそうか考えていただきます。
- ・ イメージのヒントになればと、前の画面には宮城県で作成した MIYAGI Style の紹介映像を流しますので、ご覧になりながらイメージを膨らませてください。5分後にグループ毎、活用イメージを共有していただきます。

3 個々の活用イメージを共有化する【約 5 分】

- ・ それでは、グループ(3～4名)になっていただき、活用イメージを時計回りで発表し合ってください。ご自分の授業にも参考にできそうなアイデアがあれば、ワークシートにメモしてってください。

4 まとめ【約 3 分】

- ・ 以上で、第1回の ICT 研修は終了となります。ここで、宿題を出したいと思います。本校の ICT 研修は2回行いますので、第2回までに今日考えたタブレット端末の活用イメージを基に、授業で実践してください。第2回の ICT 研修会はその発表会とさせていただきます。

「実践する上でお困りになりましたら、是非次の二つのホームページをご活用ください。

- ① 「今日の授業タブッ ciao！」（タブレット端末活用実践ポイント集）
- ② 「+(プラス)タブレ」（タブレット端末活用実践動画集）

リーダーからの話（例）

タブレット端末はあくまでも授業のねらいに迫るための一つのツールであり、必ず使わなければならないわけではありません。しかし「使わない」と「使えない」とでは意味が違います。生徒のためにも、授業スキルを上げるためにも、指導の見直しという意味でご参考にしていただけたらと思います。

タブレット端末を初めてお使いになる方は、まずはカメラ機能と拡大機能の活用をご検討ください。タブレット端末をカメラとして活用し、デジタルテレビやプロジェクタ等を使って拡大するだけです。

ワークシート

氏名：

本日の研修会のポイント

<キーワード>

1. 授業でのタブレット端末の活用イメージを具現化してみましょう。

<自分で考えた活用イメージ>

2. グループで活用イメージを共有し、さらにイメージを膨らませましょう。

<参考となる他の先生方の活用イメージ>

3. 宿題

<実際に実践する活用イメージ> ※誰に、どの領域で、どこで、何を活用…

本日は大変お疲れ様でした。